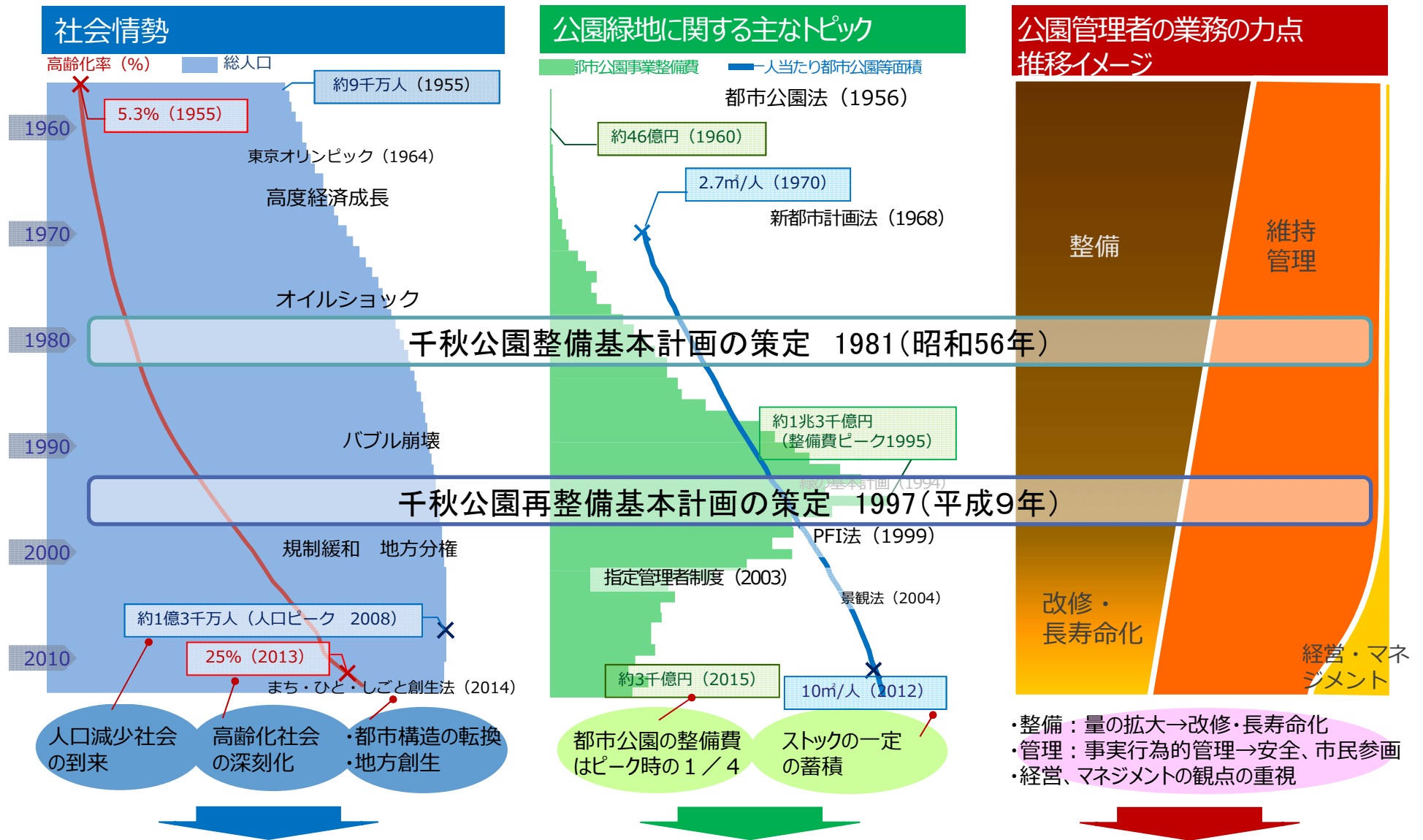


千秋公園再整備基本計画改定の目的および進め方

1. 背景と目的
2. 千秋公園再整備に関する経緯
3. 基本計画改定の基本方針
4. 改定委員会のスケジュール

1. 1. 改定の背景①: 社会情勢等の変化



社会情勢の変化等に対応するため、時代に即した公園整備が必要

1. 2. 改定の背景②: 千秋公園を取り巻く環境や役割の変化

◆ 中心市街地活性化の取組み

- ・秋田市中心市街地活性化基本計画
- ・にぎわい交流館、県立美術館等の整備
- ・県・市連携文化施設整備、旧県立美術館の活用



◆ 中心市街地と連携したイベントの開催

- ・与次郎駅伝
- ・千秋花火 など



◆ 園内におけるにぎわい創出の新たな要素

◇ 芸術文化イベントの増加

- ・あきたアートプロジェクト(H25)
- ・国民文化祭 華道フェスティバル(H26)
- ・横浜国立大学ガイア演劇プロジェクト(H27)

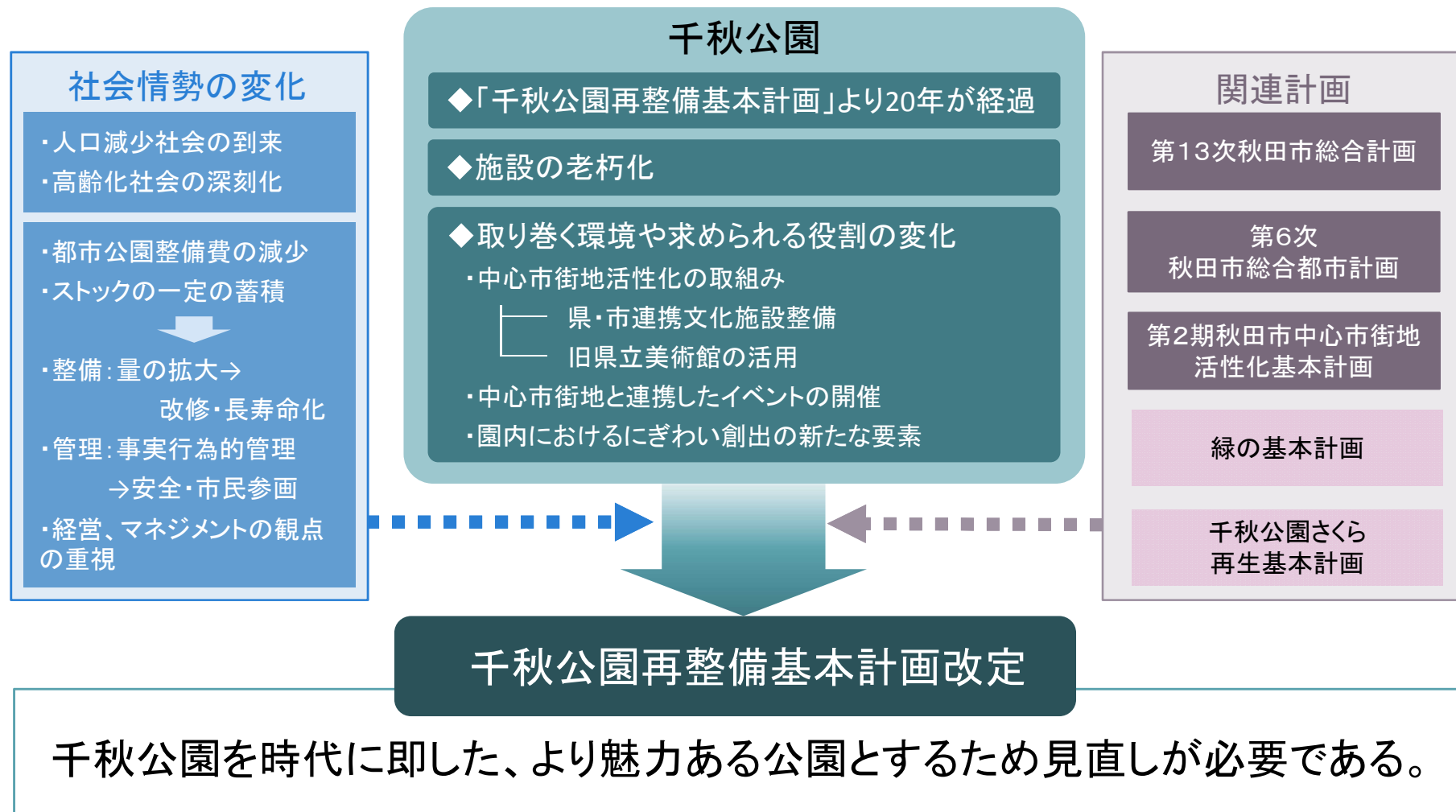
◇ 民間活力

- ・案内ボランティア
- ・旧料亭松下亭リノベーション事業



1. 3. 改定の目的

千秋公園は、現行の「千秋公園再整備基本計画」の策定から20年が経過しています。本改定は、千秋公園を取り巻く環境や求められている役割の変化に対応したより魅力ある公園へと整備するため、計画の見直しを行うことを目的とします。



2. 1. 千秋公園の歴史的背景

千秋公園は、初代秋田藩主(佐竹義宣公)が築城した、「久保田城」(堀と土塁による平山城)の城跡で、明治時代に近代公園設計の先駆者(長岡安平氏)が公園として整備したものです。古くから秋田市と市民にとって関わりの深い公園です。

久保田城:秋田藩佐竹氏20万石の居城



佐竹義宣公

祖庭長岡安平氏による近代公園



長岡安平氏

設計図

明治時代(本丸の桜)

2. 2. 近年の公園再整備に関わる経緯

現行の千秋公園再整備基本計画を策定した以降の経緯は、主に次のとおりです。

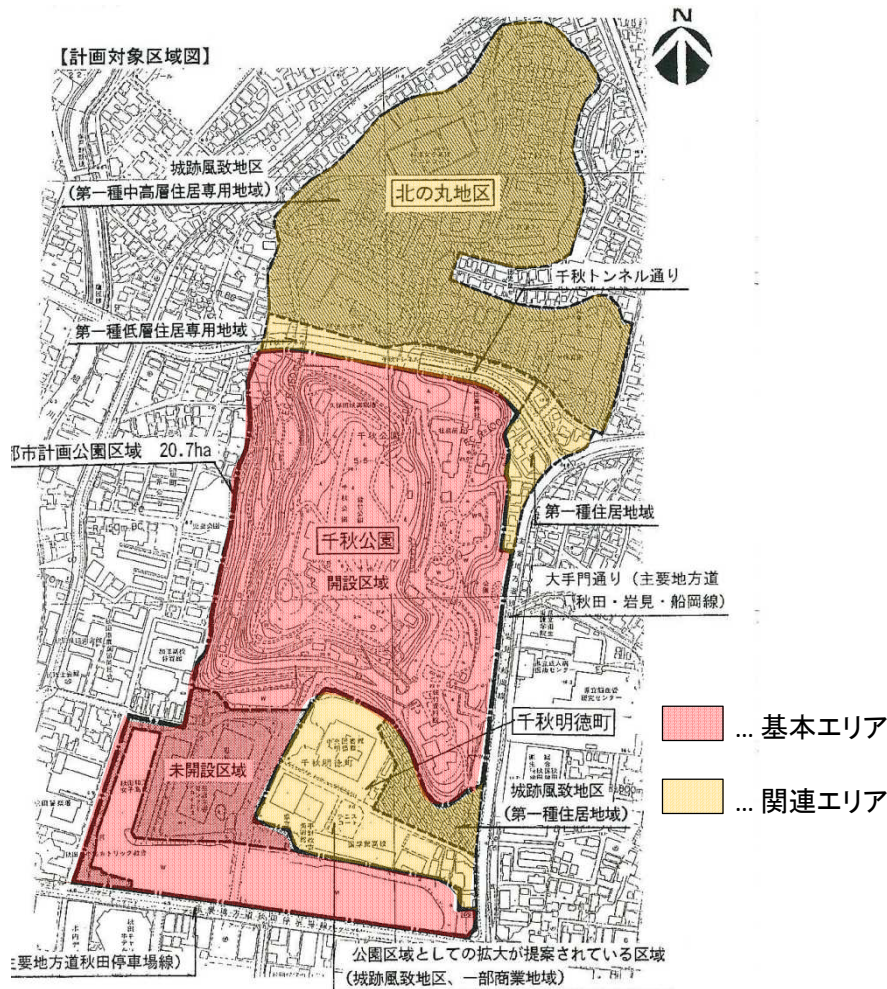
時 期	内 容
昭和56年(1981)	「千秋公園整備基本計画」の策定
昭和63年(1988)	御隅櫓の築造
平成2年(1990)	佐竹史料館の開館 (平成4年:第二展示室増築、平成9年収蔵庫増築)
平成9年(1997)	「千秋公園再整備基本計画」の策定
平成12年(2000)	表門の整備
平成12～17年(2000-2005)	自然ゾーン(園路、アヤマ園等)の整備
平成18～23年(2006-2011)	歴史ゾーン(土塁保護等)、ポケットパークの整備
平成20年(2008)	千秋公園が文化財(市指定名勝)の指定
平成22年(2010)	「千秋公園さくら再生基本計画」の策定
平成23～28年(2011-2016)	市民交流ゾーン、サクラ景観の整備

3. 1. 計画対象範囲

本計画では、基本エリアを原則とし、関連エリアとして周辺地域を含めるものとします。

基本エリア: 都市計画公園区域

関連エリア: 北の丸地区等周辺地域



3. 2. 計画期間

本計画の計画期間は、次のとおり設定します。

項目	主な対応事項
短期	早期に対応すべき施策
中期	相応の準備期間を要する施策
長期	次世代への継承も想定して対応すべき施策

※長期は20年を最長とする。

4. 改定委員会のスケジュール

項 目	改定委員会での検討事項	事務局作業
7月 第1回改定委員会 ↓	<ul style="list-style-type: none"> 改定の目的及び進め方 千秋公園の現状と課題 市民等意向調査の方針 	<ul style="list-style-type: none"> 現計画の検証 現況と課題の整理 市民等意向調査計画
11月 第2回改定委員会 ↓	<ul style="list-style-type: none"> 市民等意向調査報告 再整備基本方針 改定計画(素案) 	<ul style="list-style-type: none"> 市民等意向調査まとめ 基本方針とゾーニング 整備内容等の検討
パブリックコメント ↓		<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの実施
2月 第3回改定委員会 ↓	<ul style="list-style-type: none"> 整備等の施策内容 改定計画(原案) 	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントの反映 改定計画(案)の検討
改定計画の策定		<ul style="list-style-type: none"> 改定計画の策定